公明党議員団

未来への希望と安心を届け、成長発展の軌道を確かなものにする市政運営を！

※五十嵐秀城　笹内　和志　髙島佐浪枝　三井　泰之
宮田　俊治　湯峯佳代子　吉田　章浩

※は発言者

富田地区のまちづくり今後の取り組みは

議員　本市西部の都市拠点としての富田地区のまちづくりと、ＪＲ高架化の今後の取り組みを伺います。

市長　富田地区については、都市計画マスタープランにおいて、ＪＲ摂津富田駅と阪急富田駅周辺を富田都市拠点に位置付け、都市基盤の強化や貴重な歴史・文化資産の活用など、にぎわいと活力ある拠点の形成を目指すこととしています。

また、ＪＲ京都線の鉄道高架化については、大阪府やＪＲなど関係機関で構成する勉強会において各種検討を進めているところであり、今後も引き続き、様々な観点から検討を進め、早期に事業の実現が図られるよう、事業主体となる大阪府に強く要望していきます。

▲にぎわいが感じられる阪急富田駅周辺

市営バス２０２４年問題への対策は

議員　開業70周年を迎え、府内唯一の公営バスとして、これまでの総括と今後の展開、また、２０２４年問題の課題と対策についての市の見解を伺います。

市長　市営バスは昭和29年2月に開業し、動く市道として市勢の発展と共に歩んできました。また、府内唯一の公営バスとしての利点を生かし、市民生活を支えています。

令和６年度からは、定期券販売窓口にキャッシュレス決済を導入し利便性向上を図るほか、引き続き、行政施策との連携に努めます。また、より安全・安心な輸送の確保、運転士の資質向上に取り組んでいきます。

２０２４年問題については、大幅な減便等の課題を克服するため、一部の始発便の繰り下げ等を行うなど市民の皆様への影響が最小限となるよう工夫し、路線を維持していきます。

防災事業業務継続計画と受援計画の見直しの内容と効果は

議員　業務継続計画と受援計画について、南海トラフ地震の想定シナリオを追加するとのことですが、具体的な内容と効果は。

市長　現行の業務継続計画及び受援計画では、直下型の地震被災時に他の自治体からの受援を見込んでいますが、地震発生時には、太平洋沿岸部の自治体に甚大な被害が想定されるため、受援が期待できない状況となります。そのため、南海トラフ地震に対応した非常時優先業務等の必要人数を改めて精査し、各計画の見直しにより、限られた人員や資源を最大限生かし、円滑に応急対策が実施できるよう取り組んでいきます。

保育需要の増加に対応した認定こども園化の推進を

議員　保育需要の増加に対応するため公立幼稚園の認定こども園化の推進が重要と考えますが、これまでの総括と今後の取り組みは。

市長　保育需要の増大や公立幼稚園における入園児数の減少等に対応するため、第１次・第２次市立認定こども園配置計画を策定し、公立幼稚園等の整理・集約及び民間の積極的活用による認定こども園化を進め、幼稚園８か所と保育所５か所を公民合わせて９か所の認定こども園に移行し、受け入れ枠の拡大や適切な集団保育を行ってきました。

今後は、地域型保育事業の卒園児の受け入れ先の確保策として、令和７年度から３年保育を実施する幼稚園５園の認定こども園化や施設の整理・集約により、教育・保育提供区域ごとに核となる認定こども園を設置する取り組みを進めます。

地域共生社会実現に向けて

議員　（仮称）地域共生ステーションは他市に先例のない新しい取り組みと考えますが、地域共生社会実現に向け、今後の地域の主体性を引き出す方法と整備の方向性について伺います。

市長　（仮称）地域共生